

○講師選定理由書

【四日市 JC シニアクラブ会員】

■小川 晃範 先輩

四日市青年会議所の創立 60 周年の際に理事長を務められ、その記念式典において、2015 年から 2025 年までの中長期ビジョンとして、「四日市 JC ビジョン」を策定されました。このビジョンは、地域社会にとってより必要とされる団体となることを目指し、今後 10 年間の方向性を示したものです。

「四日市 JC ビジョン」には、「ひとづくりビジョン」「まちづくりビジョン」「青少年育成ビジョン」「環境ビジョン」の 4 つがあり、2015 年度から 2025 年度にかけて、その達成に向けた様々な運動が展開されてきました。

小川晃範先輩にお話を伺うことで、ご卒業前後の視点から見た「四日市 JC ビジョン」に向けた四日市青年会議所の運動の姿を知ることができます。そのお話を通じて、歴史を学び、自身の可能性を広げることができると思います。

■西尾 信太郎 先輩

2015 年度、四日市青年会議所が創立 60 周年の際に、60 周年記念委員会の委員長を務められました。その中でも、9 月度例会において 60 周年記念事業の一環として、当時の四日市青年会議所に設置されていたすべての委員会が運営に携わり、「つながりフェスタ」を開催されました。本事業では、四日市青年会議所の運動を発信し、各委員会がそれぞれのブースを設営し、一体となって取り組んだ事業となり、2,000 名を超える市民の皆様にご参加いただきました。

西尾信太郎先輩にお話を伺うことで、委員会単体ではなく、委員会同士が力を合わせることで、まちや四日市青年会議所にどのような変化をもたらすことができたのかを知ることができます。

また、当時の歴史を踏まえながらお話を伺うことで、会員一人ひとりが自身の可能性を広げる機会となると考えます。

■大谷 健輔 先輩

2015 年度、四日市青年会議所が創立 60 周年の際に、まちづくり委員会の委員長を務められました。まちづくり委員会は「とうかい号」を支援する役割を担っていたことから、とうかい号に関わるお話を伺うことで、まちづくりにおいてなぜ人と人とのつながりが重要なのかを理解することができます。

大谷健輔先輩にお話を伺うことで、まちへの帰属意識を高める必要性について学び、市民が地域への愛着を深める方法について知ることができます。また、当時の歴史を踏まえながらお話を伺うことで、会員一人ひとりが自身の可能性を広げる機会となると考えます。

そして、2018 年度には専務理事を務められ、四日市青年会議所以外の方々との窓口となる責任者として活動されました。その経験から、組織の内側だけでなく、外部から四日市青年会議所をどのように捉えるべきかを考え、俯瞰的な視点やバランス感覚をどのように養うべきかについて知ることができます。さらに、2020 年度には理事長を務められました。この年はコロナ禍が始まった時期でもあり、急激な社

会の変化の中で、従来の常識にとらわれず、新たな取り組みを実践されました。社会が大きく変化する中で、青年会議所としてどのように対応していくべきかを学ぶことができます。

■多田 隼人 先輩

2015 年度、四日市青年会議所が創立 60 周年の際に、オリエンテーション委員会の委員長を務められました。多田隼人先輩にお話を伺うことで、2015 年度の年次報告に記されているように、ディベートセミナーが会員の資質向上に大きく貢献した点について知ることができます。また、当時の歴史を踏まえながらお話を伺うことで、会員一人ひとりが自身の可能性を広げる機会となると考えます。

そして、2016 年度には副理事長を務められました。理事長の思いを各委員会へ適切に伝え、委員を指導する重要な役割となります。そこで、お話を伺うことによって、理事長の意図を的確にくみ取る理解力や、委員会を効果的に指導するための工夫を知ることができます。また、理事長と委員会をつなぐ架け橋として果たされた役割や、その際に工夫された点についても知ることができます。

■生川 雄規 先輩

2015 年度、四日市青年会議所が創立 60 周年の際に、会員交流渉外委員会の委員長を務められました。生川雄規先輩にお話を伺うことで、当時の国際交流会議と現在の国際交流会議の違いを知ることができ、より良い両国の関係を築ききっかけとなります。さらに、当時の歴史を踏まえながらお話を伺うことで、会員一人ひとりが自身の可能性を広げる機会となると考えます。

また、2019 年度には、会員拡大活動の主軸を担うオリエンテーション委員会の委員長を務められました。当時の入会者数は 19 名に達し、多くの新入会員が加わりました。そこで、会員拡大の手法や効果的な話法について学ぶことができます。

そして、2020 年度には監事を務められました。監事は、会員でありながら第三者的な視点を持ち、青年会議所の活動を客観的に見ることを求められます。そこで、監事としての工夫や視点についてもお話を伺うことで理解を深めることができます。

以上のことから、上記 5 名を本例会の講師として選定いたします。